



## 台風19号を教訓に、防災計画の見直しを



横須賀線では、倒木により始発から運休に。午後2時頃から本数を減らしての運行が始まりました。倒木現場は西大井の5丁目と4丁目の間付近です。

# 台風19号から1ヶ月 都市部における水害対策の強化を 避難所への移動支援・避難所の環境改善・災害ゴミの対応

### 全国各地で被害

今年10月の台風19号は「過去最大級の警戒を」と呼びかけられるなど、気象変動の影響も加え、巨大化し、雨や風による被害が全国各地で発生しました。河川が氾濫した地域では、床上浸水などが多数発生するなど重大な被害が発生し、住民は学校体育館での避難生活を余儀なくされています。

被災地からは「避難所では、間仕切りが無くプライバシーが確保されていない」「冷たい食事が続き、毛布1枚を床に引く状態で、体調を崩す人もうまれている」「家の中に流れ込んだ土砂や災害ゴミを撤去する人手も場所もなく道端に山のようになり積まれている」など様々な問題が改めて浮き彫りになりました。

### 品川区では

区内では倒木やトンネルが飛ぶなどの状況や、また横須賀線は倒木により始発から運休となるなど電車の運行に混乱がありました。水害による被害はありませんでした。

# 品川区内の自主避難施設・避難場所では、毛布1枚で夜を明かす状態に

## 18カ所で開設

品川区内では水害による直接の被害はなかったものの、区内18カ所で自主避難施設や避難場所が開設。風水害でここまでの規模で開設されたのは、おそらく区政史上初の事です。台風が上陸する前日の11日（金）には夕方から伊藤学園など5つの小中一貫校が自主避難施設として開設され、12日（土）には避難準備高齢者等開始が発令される等、シルバーセンターや学校体育館にて自主避難施設や避難場所が合計18か所で開設。夜11時の時点で584名の住民が避

難を行い、13日（日）朝5時には住民は208名となり、約2百名の住民が不安な一夜を過ごしました。

## 避難施設の改善を

高齢者からは「一人で行るのが不安なので、近くの学校に行ったが、そこではなく伊藤学園だったので、遠くて歩くのが大変だった」との声もありました。

また避難施設は毛布1枚の提供で、住民の多くが体育館の壁を背に床にしゃがみ込んでいる状態。これでは高齢者を含め、とても住民が避難できる環境ではありません。

障害がある方や子ども

もずれの方からは「避難すべきか不安だが、避難施設がとても過ごせる状態ではない」と話す方もいました。

## 防災計画見直しを

今回は品川区内では水害は発生しませんでした。したが、避難所への移動や避難所の環境が、この状態のままでは、実際に被害が発生した際、とても住民の命を守ることはできません。


移動支援とあわせ、避難所の間仕切りや簡易テント、簡易ベッド、温かい食事の提供など環境改善は急務。今回の経験を教訓に防災計画の見直しを提案していきたいと思えます。

## 西大井駅のトイレ改修

### 来年1月から工事開始に変更されました

なかなか工事が始まらない、西大井駅のトイレ改修。区に問い合わせたところ、JRとの協議や入札などで予定より時間がかかり、工事開始が遅れているようで、トイレ改修は来年1月から3月にかけて工事を行う見通しだという事がわかりました。

もうしばらく、お待ちくださいとの事です。 なかつか亮

なかつか亮 1975年品川区西大井生まれ/44歳/03年に27歳で初当選し、5つの常任委員会をはじめ、予算・決算委員会副委員長や行革特別委員会委員長を経験/区議5期/党区議団幹事長/家族：妻/29号線認可取消裁判原告/趣味：料理、旅行 

なかつか亮の駅前宣伝 火曜日朝7時半～大井町駅、金曜日朝7時半～西大井駅、土曜日夕方4時～大井町駅  
スタッフ募集：区政報告を駅前宣伝で配付して頂ける方を探しています。少しの時間だけでも助かります。